

久下小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 平成 23 年 8 月 6 日（土） 午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
- 2 場 所 久下公民館
- 3 参加者 47 人
- 4 会議の概要

○質疑応答

（1）安全と安らぎのあるまち（防犯）について

市民

久下小学校から太井の方へ抜ける通りにJR高崎線の踏切（太井踏切）があります。この踏切は通学路になっていますが、幅が狭くて子どもたちが車とすれ違うときには非常に危険です。JRとの関係等いろいろあって難しいとは思いますが、是非とも踏切の幅を広げていただきたいと思います。

市長

踏切の所だけ広げても、前後の道路が狭くては効果がありませんので、まずは現場を見させていただきたいと思います。その上で議員さんを始め、地域の皆様と御相談をさせていただきたいと思います。

また、拡幅工事をする場合には、非常にお金がかかるということも事実です。最近、籠原駅の近くの踏切で拡幅工事をしましたが、2億円近い費用がかかったということも申し添えます。

市民

子どもたちの通学時間に通学路（久下小学校の南側に接する幅の狭い市道）でスピードを出している車をたくさん見ます。できれば警察の協力をいただいて、一度取締りをしていただけないでしょうか。ドライバーたちに「あそこは取締りが厳しいぞ」と分かせた方がよいと思います。

市長

通学の時間帯は通勤の時間帯でもありますから、取締りをする影響も大きいでしょう。しかし、いずれにしてもスピードを出させないようなアイデアや仕組みを考えてみたいと思います。

市民

大きい事故になってからでは遅いですからね。

市長

もちろんです。しかし、取締りをするには（パトカーや警察官が待機したり、違反車両を停車させたりするための）広い場所が確保できる必要もあります。

市民

パトカーが通るだけでも効果があると思います。

市長

そうですね。また、市が単独で応急処置的にできるのは「スピードを出さないように」という看板を立てることぐらいですが、大勢の方が立哨（りっしょう）をしていたり、道路パトロールをする方の姿が多く見られたりすると、ドライバーはスピードを出しづらくなると思います。地域の皆様にもそういう面で協力をしていただかないと難しいところがあるかもしれませんね。

市民

東日本大震災の時もそうでしたが、災害時には情報が素早く伝達されない、被害に遭う市民が多くなります。そのため防災行政無線の役割が非常に重要になってくるのだと思いますが、土手の上ではよく聞こえても、まちなかに入ると騒音でかき消されてしまいます。非常時に市役所と自治会をつなぐホットラインのようなものが何かあれば教えてください。

市民部長

私は 2 ヶ月前まで防災を担当する危機管理監という役職を務めておりましたので、防災行政無線のことも担当しておりました。

防災行政無線は一つの無線塔からの放送が大体半径 300m の範囲に聞こえるように計算をして設置しています。しかし、市街地では車や工場から出る音などで放送が聞きづらくなるのがよくあります。聞こえるようにするためには単純に音量を大きくすればよいのですが、無線塔のすぐ近くにお住まいの方にとっては生活に支障が出るほどの迷惑も掛かってしまいます。実際、防災無線の放送をする度に「聞こえない」という苦情と「うるさい」という苦情の両方が寄せられています。

そこで、是非「※メルくま」を御利用いただきたいと思います。「メルくま」は携帯電話を利用した情報配信サービスです。事前に御登録をいただきますと、全部で 23 ある項目の中から御希望をいただいた情報が随時、皆様の携帯電話にメールで届きます。防災行政無線も放送が流れるとすぐに同じ内容がメールで届きます。

※メルくま (<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/sogo/kohokoty/maikuma/index.html>)

市長

今は 24 時間社会と呼ばれるように勤務時間も生活パターンも様々な方がいらっしゃいます。例えば、午前 7 時 30 分に「登校するお子さんを地域で見守

ってあげましょう」という内容の放送をしています。この放送に対しても「うるさい」という苦情が届いています。「放送に問題のない時間なのにどうして」と思われるかもしれませんが、夜勤帰りでちょうど寝付く頃の方にとってはうるさく聞こえるのかもしれませんが。

市民

そのサービスは有料ですか。

市民部長

登録料は無料ですが、メールを受信するのに若干の通信料を負担していただく必要がございます。

市長

メールを受信するための通信料だけですから、そう高い金額ではありません。携帯電話の契約内容によって変わってきますが、メール 1 回につき、かかっても 3 円程度です。

市民

登録をするための窓口はどちらですか。

市長

皆様の携帯電話から直接登録ができます。市のホームページ（P2 の※）にも案内がありますし、登録方法が書かれたチラシも御用意していますので、後ほど御覧になってください。

この方法なら周りの音や風向きなどに影響されず必要な情報を手に入れますし、市外など遠くにいても大丈夫です。

なお、御登録いただいている方の数は、東日本大震災の前は 4,800 人ほどでしたが、今は 13,500 人ほどにまで増えています。しかし、まだまだ多くの方に御利用いただきたいと思っています。

（2）市民の元気と健康（医療）について

市民

熊谷市の国民健康保険では人間ドックを受診するときに 3 万円の補助があります。これは他に見られない熊谷市ならではの素晴らしい制度だと思っています。

ただ、人間ドックで大腸がん検診などを受けたときに、陽性の結果が出ても結局その病院では対処できなくて、大学病院などを紹介されることがほとんどです。循環器・呼吸器病センターもありますが、そこだけでは手が回りません。是非、県立がんセンターのように大きな病院を市内に誘致してもらいたいと思います。このことについての市長のお考えを聞かせてください。

市長

医療機関を整備するのは大切なことです。ただ、公立病院としての配置を考えますと、お話のあったがんセンターと循環器・呼吸器病センターはどちらも県立病院です。実は、埼玉県内にある県立病院は4か所だけで、あと2か所は精神医療センターと小児医療センターです。4か所しかないうちの1か所が既に市内にあるわけですから、新たに公立病院を誘致するのは現実的に不可能だと思います。

ただ、熊谷総合病院が機能を拡大するために今年の秋には建替工事に着工するという話もあります。市としても土地区画整理事業の保留地をお譲りして、敷地の使い勝手がよくなるように協力をしています。工事は何期かに分けて行われますので、1年や2年ですぐに出来上がるというお話ではありませんが、今後は熊谷総合病院を中心に民間の病院も充実してくるのではないかと期待をしています。

市民

病院だけでなく医師の数も少ないようにも感じています。

市長

夜勤が大変で医師がよそへどんどん移ってしまっていて減っているというのは事実ですね。また、以前に市内の医師の方にお聞きした話ですが、その方が開業した頃と比べると、実は小児科医は2倍か3倍に増えているそうです。ところが、ほとんどが開業医にまわってしまうため、病院勤務の医師が少なくなっているそうです。産婦人科医も医療行為中の死亡事故を巡る裁判で医師側が負けるという事例が福島県であって、それ以来、なり手が激減してしまっただけです。

そんなことで深谷赤十字病院でさえ、24時間体制での診療ができなくなっただけです。そのため、埼玉県や熊谷市、深谷市などがお金を出して、そのお金で当直の先生を雇ってもらっているという状況です。

この問題はもはや市町村レベルではなく国全体で取り組んでいかなくてはならない問題であると感じています。今後は国の施策として病院と開業医の診療報酬を見直したり、小児科や産婦人科のようなリスクが高い診療科については診療報酬を上げたり、医療事故で裁判が起きたときのケアをしっかりとするなどの対策を取っていかないと、医師の数を確保することは難しいと思います。

いずれにしても、この問題はいろいろと課題も多いようですから、これからもいろいろと研究をしていきたいと思っています。

市民

道路整備のことで一つお願いがございます。太井にJR高崎線の第一堂面踏切がありますが、そのすぐ近くにある市道のことです。踏切を北東から南西に渡った直後の十字路を線路沿いに南東に進むと、すぐに水路に当たって行き止まりになる所があります。水路を挟んだちょうど反対側にも市道が通っていますが、真ん中に私有地があるため、つながっていません。今回、地主さんの好意でその私有地を道路整備のために寄附していただけることになりました。

既に市の担当課には相談用紙を提出し、回答もいただいております。寄附の受入れに当たっては幾つかの条件もありましたが、全て解決できる見通しとなりました。後日、道路整備の要望書を提出したいと思いますので、その際には市道の途切れた部分を速やかにつないでいただけますようお願いいたします。

市長

まず一般論から申し上げますが、条件付きの寄附というのはなかなか受け入れづらいところがあります。例えば、「100万円相当の寄附をするので1,000万円や2,000万円の仕事をしてください」と言われましても、すぐに受け入れることはできません。ここまでは一般的なお話です。

次に今いただいた個別の事案についてですが、市がその道路を造った時の経緯はこの場では分かりません。しかし、市が行き止まりの道路を造りっぱなしにするようなことは考えられませんので、恐らく道路を造りたくても用地が取得できなかったのだろうという想像が付きまします。

今回、その土地が地主さんの好意で市に提供していただけることになったということでよろしいのでしょうか。

市民

はい、そうです。

市長

市の担当者にも既に御相談をいただいているようですし、後は議員さんや自治会長さんに御相談の上で要望書としての取りまとめをしていただきたいと思います。

ただし、この久下地域からも既に他の道路舗装や側溝整備などの陳情書を幾つもいただいております。先に頂いたものを飛び越して今回の要望をすぐにといいわけにもまいりませんので、要望書を出していただいた段階で改めて地元の皆さんと御相談をさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

市民

はい。

市民

今回の件に関わらせていただいている者ですが、私の方からも少しだけ補足をさせていただきます。

基本的なお話は先程説明があったとおりですが、水路の上には土地区画整理事業の際に既にボックスカルバート（箱型の暗きよ）で橋が架けられていますので、新たに橋を架ける必要はないと思います。寄附をするときの条件で、市から田んぼになっている所に盛土をして道路と同じ高さになるよう砂利を敷くようにとされていますので、9月にはそうしようと思っています。

市長

この件については、水路の切り回し（水路が流れる場所の変更）は必要かどうか、また、高低差の関係なども含めて検討をしなくてはなりませんので、市の内部でよく相談をさせていただきます。

市民

よろしくお願いします。

市民

ゆうゆうバス（市内循環バス）のバス停で、お年寄りが暑い中、立ったままバスを待っている姿をよくお見かけします。小さな親切ということで、椅子を設置していただければ助かります。

市長

はい。中には置いてある所があるかもしれませんが、この場では把握できていません。他の路線との兼ね合いなどもありますので、御回答には少しお時間をください。

市民

熊久公園にはトイレが無いので、トイレを設置していただければありがたいと思います。

市長

基本的には、公園の機能に応じてトイレの設置がしてある所としていない所が分かれています。まず、小規模な公園は、すぐ近くにお住まいの方が歩いて遊びに来るという前提で造っていますので、あえてトイレの設置をしていない所が多くあります。一方、ある程度大きくて半日ぐらい遊べるような公園にはトイレが設置してあります。そういった公園には離れた所から車に来る方も多くいらっしゃいますので、駐車場も整備してあります。

市民

それでは難しいかもしれませんね。

市長

そういったことでトイレの有る所と無い所を分けてありますので、御承知いただきたいと思います。

市民

久下地内には中山道が通っていて、遠くから訪ねてくる方もたくさんいます。しかし、道路に中山道の標識が一つも無いので、「中山道はどこですか」、「どうやって行けばよいのですか」と質問をされることが多くあります。ですから、中山道の場所を示す標識を作っていただきたいと思います。

市長

申し訳ありませんが、このことについては不勉強で分かりませんので、持ち帰りで研究をさせていただきたいと思います。

市民

「まちなか『涼しさ』体感アート」の関係ですが、緑化センターに私どもの久下熊久自治会で作ったムサシトミヨの模型が乗ったおみこしが展示してあります※。熊谷市で40度の暑さを記録したことから、ムサシトミヨを40倍に大きくしてみました。是非その宣伝をしていただければありがたいと思います。

※「まちなか『涼しさ』体感アート」の展示は既に終了しています。

市長

はい。緑化センターで展示をされているんですね。ありがとうございます。

実は今、市立図書館の3階にある展示ホールで「ムサシトミヨと身近な昆虫たち※」という展示会を開いておりまして、世界中の珍しい昆虫や蝶（ちょう）の標本と一緒に、本物の生きたムサシトミヨの展示をしています。逆に宣伝をするようで申し訳ありませんが、皆様、どうぞこちらの方も御覧になってみてください。

※「ムサシトミヨと身近な昆虫たち」の展示会も既に終了しています。

○市長のまとめ

今日は貴重なお時間を頂戴しまして、ありがとうございました。

これまで「皆様から直接お話しいただいたことを市政の中に生かしたい」という思いからハートフル・ミーティングを行ってきました。今日いただきました御意見も何らかの形にできるように努力をしていきたいと思っています。中には持ち帰らせていただく御質問と御要望もございますが、市の内部でよ

く検討をした上で御返事をさせていただきます。

地域の皆様が地域の課題を共有するということは大変意味のあることです。また、この場で頂く御意見はこの場にいらっしゃらない大勢の方の御意見を代弁されているのだとも思っております。ですから、こうして皆様から直接お話をいただける機会をこれからも大切にしていきたいと考えています。

最後になりますが、今日は大勢の皆様に熱心に御参加をいただきまして、本当にありがとうございました。また、地元の議員さんにも大変お世話になりました。皆様、大変お疲れ様でした。これからもどうぞよろしくお願いいたします。